

# 令和 4 年度 学校推薦型選抜・公募制問題用紙（小論文）

## 家政学部 食物学科 管理栄養士専攻

高齢者の健康維持に重要な、口腔の状態に関する問題である。下の解説文と図の内容から、問いに答えよ。

【解説文】超高齢化社会を迎える日本では、高齢者の栄養状態の維持は大きな課題です。特に、歯・口（口腔）を良好にすることが重要になります。口腔は食べる機能や、会話をしてコミュニケーションを取る機能などがあります。食べるためには、歯で食物を咬み、飲み込む（嚥下<sup>えんげ</sup>）という一連の動作が必要です。会話をする際、口は発音に関わるとともに、表情を作ります。口腔機能低下症とは、食べ物を噛み砕いたり飲み込んだりする機能が衰えた状態で、放置すると身体全体の衰えへと繋がっていきます。

著作権上の制約により  
掲載することができません。

図 噛めない・よく噛めるグループの食品群別摂取量・栄養素等摂取量  
＜よく噛めるグループの1日の摂取量を100%とした時の、噛めないグループの摂取量の割合＞  
（本川 佳子：高齢期の栄養ケア 歯科と栄養の連携. 老年歯科医学 2019; 34: 81-85.より引用・改変）

- 問1 よく噛めないグループの食品群別摂取量と栄養素等摂取量について、分かることを述べなさい。
- 問2 高齢者のよく噛めない状態による食生活（食品群別摂取・栄養素等摂取）が、栄養状態や健康状態に及ぼす影響について述べなさい。
- 問3 あなたが考える、よく噛めない状態の高齢者に対して栄養状態を低下させないために指導すべきことについて述べなさい。

「以下の余白、裏面は下書きとして使用して構いません」